

【学校だより】

**三 星 霜**

佐世保市立山澄中学校

【学校教育目標】

**気づき、考え、正しいことを実行する生徒**

【校訓】

**健康 自律 責任 礼儀**

【文責】 校長 辻 義孝

**7月2日(日) アルカスSASEBOで開催された、「社会を明るくする運動中学・高校生弁論大会」において、本校代表として、3年生の古川祐子さんが、出場しました。佐世保の未来に希望の光をあてようとする様々な提案に、佐世保愛を感じました。**

題名 「ふるさと佐世保のために」

「都会と田舎、どっちが好き？」英語の授業で、この質問に英語で答えるということがありました。私は、買い物ができる場所がたくさんあるという理由で都会の方が好きだと言いました。他の人の意見も都会の方が好きだという人が多くいました。そこで「将来、住むなら都会と田舎、どっちがいいか」を考えることにしました。

まだ、新型コロナウイルスが流行っていなかった数年前、私は家族と一緒に福岡へ行きました。福岡は、九州の中では一番の都会です。初めて行った都会は、建物が首が痛くなるほど高くて、圧倒されました。福岡には商業施設や娯楽施設がたくさんあり、充実した一日を過ごしました。食事もおいしく、思わず「これ、ほしい。」と言ってしまうような魅力的な商品もたくさんありました。

都会は、いろいろな人や物と出会える反面、ゆっくりと過ごせる場所が少ないと言えます。次に、ニュースでも取り上げられていますが、都会から田舎に移住する人が増えています。田舎は、工場やビル、車が少ないので空気がきれいです。また、豊かな自然が近くにあるので、四季を感じ、解放感あふれる暮らしができます。

しかし、交通手段が少ないので、移動がたいへんだと感じる人が多いと思います。では、私たちの住む佐世保はどうでしょうか。佐世保は西海国立公園「九十九島」を代表とした、豊かな自然に恵まれた町です。かつて旧海軍の軍港として栄え、現在は米軍基地を有する国際色豊かな街です。最近では人口が減少しており、調べてみると2045年には、現在の人口より四万人ほど減ると予想されているそうです。このままでは、佐世保はどうなってしまうのでしょうか。

私は今、困っていることがあります。それは、交通手段が少ないことです。塾や部活動に行くとき、親がいれば車で送ってもらえますが、私の住んでいる場所からのバスの本数が少なく、ちょうどよい時間に乗ることができません。そこで解決策を考えました。マイクロバスや乗合タクシーを国道のバス停や駅まで運行するのはどうでしょうか。マイクロバスやタクシーにすれば、大型バスよりもコストを下げることができます。そして乗客が多い朝と夕方に本数を増やし、乗客が少ない時間は運行しなければ、生活しやすくなります。

他にも、明かりが少なく、暗くて帰るのが怖い道があることも困っています。これも解決策を考えました。暗いところや危ないところを示した、中高生目線のハザードマップを作り、電灯をつけたり、パトロールを強化したりするのは、どうでしょうか。佐世保に住む人たちの困っているところを改善していくことで、だれもが安全に暮らせる町づくりができると思います。そして、佐世保に住みたいという人が増え、きっと活気ある佐世保になります。

佐世保は、大好きなふるさとです。そのふるさと佐世保を守っていくために、佐世保について、もっともっと調べてみたいです。そして、この町の良さを多くの人に知ってもらうために、広報活動をしたり、ボランティア活動に積極的に参加したり、自分にできることに取り組んでいこうと思います。

小さな活動ですが、私の大切な人たちが住む、ふるさと佐世保のために、たくさんのことを学び、経験を積み重ねていこうと思います。

